

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

## > **さいたま市立 岩槻小学校** > > > > > > >

- 1 学校教育目標を「豊かな心を持ち、自己の能力（よさ）を最大限に発揮できる、心身共に健全な子どもを育成する。」と設定しています。
- 2 目指す児童像を「考える子 助け合う子 きたえる子」と設定し、児童の「自信・自律・自立」を支援し、「自学・自習」ができる子の育成を行います。
- 3 キャッチフレーズは「あいさつ 笑顔 チャレンジ 岩槻小」です。



■所在地：さいたま市岩槻区本町 5-6-45 ■電話：048-756-3341  
 ■FAX：048-758-7488 ■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅徒歩 10 分

### 01 地域とともにある学校づくり



本校は、地域に愛され、地域に見守られ、地域とともに歩んでいる学校です。近隣には「遷喬館」や「岩槻人形博物館」などの教育活動に活用できる施設が多くあります。本校の中にも「人形資料館」があり、6年生卒業記念制作として「木目込み人形作り」を行い、引き継がれてきた伝統や技術を実際に体験しています。

さらに、「岩槻まつり」や「ふれあいフェスタ」「公民館まつり」などの地域行事に、本校の金管鼓笛隊等が積極的に参加するなど、岩槻の町おこしに自分たちができることを考える機会を多く設定しています。このような、子どもたちの身近で引き継がれている伝統を教育活動に取り込み、地域とともに学び続ける学校教育を推進していきます。



### 02 福祉教育の充実



総合的な学習の時間等に、福祉に関する教育活動の充実を図ります。生涯にわたって学び続けるためには、主体的に学ぶ態度の育成は欠かせません。「アイマスクや白杖体験」といった体験活動や、さいたま市教育委員会が主催する「夢工房未来くる先生 ふれ愛推進事業」等を活用し、児童が実際に体験する中で感じ取った気付きから、自分で課題を設定し、解決する学習を行います。みんなが不自由なく生活するために、自分たちができることは何か、児童一人ひとりが主体的に考える教育活動を推進していきます。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

## > さいたま市立 太田小学校 >>>>>>>>

### 学校教育目標

『自他を大切にして主体的に学び、生きる力をはぐくむ児童の育成』

「やさしく かしこく たくましく みんなで伸び行く太田小」をキャッチフレーズとして、子どもたちにとって居場所のある学級づくりや、家庭や地域とともに歩む学校づくりを推進しています。



■所在地：さいたま市岩槻区仲町1-17-3

■電話：048-756-0515

■FAX：048-758-7487

■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅徒歩20分

## 01 児童が安心して生活でき、いのちを大切にできる学校づくり



本校では、さいたま市の「心のサポート推進事業」の取組の一つである、「予防開発的な教育活動の充実」を目指し、「SOSの出し方に関する教育」について研究を進めてきました。

「『いのちの支え合い』を学ぶ授業」の全学年実施や、児童会によるあいさつ運動、特別活動部による兄弟学級や集会等の活動等により、SOSを出したり受け止めたりすることができる児童の育成に取り組んでいます。

また、教職員も児童のSOSを受け止められるよう、児童へのアンケートの実施や面談週間の設定等を行い、生徒指導・教育相談体制の充実を図っています。令和2年度から進めているSTEAM S教育の研究を押し進め、自他を大切にし、未来社会をリードする人材の育成に努めてまいります。



## 02 児童とともに育てる家庭・地域との連携、教育環境の整備



家庭や地域と連携を深め、児童のSOSに気付くことができるよう、情報発信と共有化を図っています。岩槻中学校や岩槻小学校、地域との意見区間の場であるコミュニティスクールの活動も押し進め、学校と地域とのつながりを強められるよう努めています。

また、児童の安心感が向上できるように教育環境の整備を行いました。給食時にはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわやか相談員などの相談員を紹介したり、相談窓口の掲示などを行ったりして、相談しやすい環境づくりに努めています。全学級のいじめ撲滅スローガンや人権標語の廊下掲示により、支持的風土の醸成にも努めています。

さらに、今年度も人権教育の視点から、人権作文・標語の取組だけでなく、人権の木等の取組を行う予定である。道徳や特別活動を活用した学習を通して、自他よさを認められる児童の育成を目指す。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



さいたま市立  
川通小学校



開校139年目を迎える本校は、さいたま市東部を流れる水量豊かな元荒川の東岸に立地し、地域コミュニティの一つとして保護者の皆様や地域の皆様に親しまれてきた学校です。

その元荒川の恵みを求めてやって来るたくさんの小動物、校区に広がる田園地帯、そうした自然に恵まれた環境を生かした教育を進めています。また、地域の歴史と伝統に裏付けられた産業や文化を取り入れた学習、地域コミュニティに根付く人と人の関わりを生かした教育活動も本校の特色です。



■所在地：さいたま市岩槻区大野島422-1 ■電話：048-799-1060  
 ■FAX：048-799-0424 ■交通：岩槻駅東口より越谷駅西口またはしらこぼと水上公園行き下飯塚下車（朝日バス）徒歩15分

## 01 地域とともに歩む学校づくり



本校では、互いに認め合いよりよい学校生活について考えることができる話し合い活動の充実にも力を入れています。児童会が作成する「いじめ撲滅スローガン」のもと、「えがおの木」や「あいさつ運動」に取り組むことで人権意識を育て、子ども全員が安心・安全な生活が送れる基盤づくりに取り組んでいます。

また、全校集会でお世話になっている地域の方に「感謝の会」を開き、郷土と人を愛する心を培う学校教育を推進しています。地元の産業については、3年生社会科で地域で生産されているヨーロッパ野菜農家について学び、総合的な学習の時間では地元の企業「宮大工」と「段ボール工場」を実際に見学をさせてもらうなどして、地域の人々の話を直接聞くことができます。

こうして、地域の一員としての自覚を高めるために、ICT等を活用して熟慮や議論をしたり、体験活動を通して子どもたちの視野を広げ、地域の活性化と郷土愛を培い、地域をよりよくする一員になっていけるようにしていきたいと考えています。



## 02 豊かな自然を生かした生産活動の充実



周囲を田畑に囲まれた本校は、学校ファームを所有し、ジャガイモ、サツマイモ、米、大根、ヨーロッパ野菜等を各学年が栽培しています。子どもたち自身で育てて収穫した作物は、給食の食材として食べることを通して、心を耕し育てています。また、地域には、昆虫や鳥類も生息しています。

これらの自然をよりよく生かしていくためにどうすればよいか、子どもたちは、話し合い、持続可能な社会をするため、地域の一員としての自覚を育成します。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立

柏崎小学校



## 《学校教育目標》

### 学びを楽しみ、共に高め合うかしわっ子

- 知・・・自分の考えを明確にもち、仲間と共に学び合う子
- 徳・・・「当たり前のこと」を「当たり前」に堂々とできる子
- 体・・・健やかな心身と、粘り強い気力のある子
- コ・・・互いのよさを認め合い、自分のよさを発揮できる子

合言葉・・・**かしこく わくわく つながる こころ**



■所在地：さいたま市岩槻区柏崎762番地 ■電話：048-798-3831

■FAX：048-798-8672

■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅徒歩25分

## 01 人間関係を基盤とした教育活動の充実

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校は令和4年度から2年間、さいたま市教育委員会から「教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成についての研究」の研究指定を受け、研究主題を「自分の思いや考えをもち、豊かに表現し、よりよくいきようとする児童の育成」とし、国語科、特別活動を中心に研究を進めました。

また、授業外の取組として、毎週木曜日に「なかよしタイム」や「ハッピー活動」を設け、みんなで遊んだり、同じ活動をしたりすることで、児童同士の繋がり、結びつきをもつ機会を設けました。

令和6年度は、これまで培ってきた力を基盤としつつ、取組を継続、発展させていく中で、仲間と協働し、自らの学びを調整しながら、よりよく生きようとする児童の育成を目指して教育活動を充実させていきます。



【「学級活動(1)学級会」  
研究授業】

## 02 豊かな自然環境を生かした体験活動への取組

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【そら豆さやむき体験】

本校は、豊かな自然環境に恵まれています。様々な木々、昆虫、季節ごとに咲く花々があり、また、給食では、地域の生産者の食材を多く取り入れています。発達段階に応じて、食材の皮むき、栽培活動、生産者との交流等を行い、今ある環境を大切に、守って引き継いでいくための活動に取り組んでいきます。児童は自分の目で見たり、手で触ったり、また、体験したことの思いや気付きを交流を通して深めたりすることで、自校の豊かな環境への意識を高められるようにしていきます。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



## さいたま市立和土小学校



目指す学校像 一人ひとりがキラリと光る学校

学校教育目標

未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

### ○やさしい子

- ・自らあいさつする子
- ・豊かにかかわり合う子
- ・相手を理解し、互いに尊重する子

### ○かしこい子

- ・自ら学ぶ子
- ・友達と協働し、じっくり考える子
- ・自分の考えをもち、自分の言葉で話す子

### ○たくましい子

- ・何事にも挑戦する子
- ・あきらめずに最後までがんばる子
- ・健康で安全な生活を送る子

■所在地：さいたま市岩槻区黒谷 1 3 5 3 番地 ■電話：048-798-0208

■FAX：048-798-8730 ■交通：東武岩槻駅から国際興業バス「和土」バス停下車徒歩 8 分

## 01 和土の豊かな自然や文化を知る



1年生の生活科では学区探検。2年生の生活科での町探検。3年生の社会科と総合的な学習の時間において、学校周辺や岩槻区のことについて学びます。学習を通して、田畑の多さや自然林などの自然の豊かさ、篠岡八幡大神社の子ども土俵入りや数多く存在する寺社などから地域の伝統文化と歴史を学んでほしいと考えています。



2年生 町探検

## 02 体験を通して食の大切さを考える



1・2年生は生活科で「ヨーロッパ野菜」づくりを行います。5年生は総合的な学習の時間で「食」について学びます。その中で「田植え・稲刈り体験」をしています。児童は苗の植え付けや水やり、稲刈りをして、収穫できた野菜や米を食べる活動を通して、自然を相手に食べ物をつくることの大変さや素晴らしさを学び、「食」の大切さを実感してほしいと考えています。



5年生 稲刈り

また、給食の食材を育てる機会や給食で提供される伝統食、海外の料理などの食文化にふれる機会を通して、「食」に対する理解を深めるとともに生産者、調理する方への感謝の心を育てています。

## 03 心豊かなふれあいを大切にする



本校では平成31年度から令和2年度まで人権教育をテーマに研修を行いました。その一環として、①階段に児童が考えた笑顔になれる言葉を掲示（和土小スマイル階段）②昇降口に各クラスのいじめ防止スローガンを掲示③昇降口前に心のホットコーナーを掲示（月1回テーマに合わせて、自分の目標や友達への感謝などを書く）と校内の人権教育を継続しています。



和土小スマイル階段

また、道徳の学習をはじめとした、人権教育を意識した授業づくりを行っています。さらに「全校遊ぼう会」や「縦割り清掃」、縦割り班で学習に取り組む「学びっ子タイム」など異学年交流も進め、相手を理解し、互いに尊重する心を育てています。

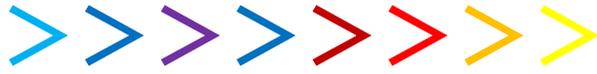
# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立  
**新和小学校**



## 学校の教育目標（目指す子ども像）

みんなで作る みんなの学校

～児童・教職員・保護者・地域のすべての人の笑顔のために～

自分で考え、自ら行動する子 みんなを大切にする子 よりよい未来を切りひらく子

本校は、学校・家庭・地域で取り組む食育が評価され、令和4年度優れた「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰を受けました。引き続き、学校・家庭・地域での食育を実践していきます。



■所在地：さいたま市岩槻区尾ヶ崎 1252 ■電話：048-798-0003 ■FAX:048-798-8732

■交通：JR 武蔵野線 埼玉高速鉄道線 東川口駅北口 国際興業バス「岩槻駅」行き  
バス停「尾ヶ崎」下車（約17分） バス停から徒歩約7分

## 01 地域の農家の方との地元野菜等の栽培



本校では、農家の多い地域性を生かし、地元野菜等の栽培や収穫などの体験学習を実施しています。地域の農家の方を招いて、もちの木学級はヨーロ

ッパ野菜、3年生はクワイ、5年生は米の育て方を教わったり、育てた農作物を実際に食べたりすることによって、地域の食文化への興味・関心を高められるようにしています。



また、さいたまヨーロッパ野菜研究会と連携し、農家の方を招いて交流会を行ったり、ヨーロッパ野菜を使った献立を給食で出したりすることで、農作物の多様性を学ぶ機会としています。

これらの取組を通して、SDGsの目標2「飢餓をゼロに」に寄与していきたいと考えています。



## 02 「食品ロス」に向けた取組



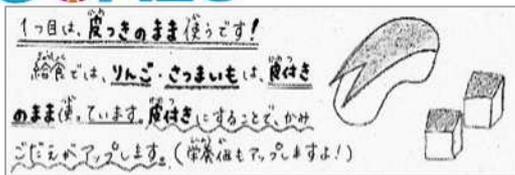
本校では、まだ食べられる食材や食べ残した食材を捨ててしまう「食品ロス」を減らす取組を行っています。

給食では、リンゴの皮のむき方を工夫し、皮を捨てずに調理して出すなど、食材を余すことなく使用しています。

残菜の量を減らすための取組としては、「好き嫌いなく食べることを生活目標として設定することで、給食の食べ残しについて考える

機会としています。また、自分で決めた量の給食が食べられたかが分かる掲示物を委員会の児童とともに作成することで、児童一人ひとりの食べ残しを減らす意識を高めています。

これらの取組を通して、SDGsの目標2「飢餓をゼロに」、目標12「つくる責任つかう責任」に寄与していきたいと考えています。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立

慈恩寺小学校



「夢や希望をもち、心豊かにたくましく生きる児童の育成」

つよく ただしく なかよく

学ぶ意欲 強い意志 尊重し合う心

～ きらりと輝く 慈小っ子 ～



■所在地：さいたま市岩槻区大字慈恩寺259番地

■電話：048-794-1140

■FAX：048-795-0377

■交通：東武アーバンパークライン豊春駅徒歩30分

## 01 確かな学力の向上のために



学びのポイント「じ・し・や・く」を取り入れた学習の質的向上。児童主体とした授業を実施し、学びの個別最適化を

推進する。学校課題研修では、ICTを効果的に活用した学びや学習形態の工夫、言語環境の整備等に取り組む。また、読書活動の充実・基礎的基本的な知識・技能の着実な定着を図る時間の設定・家庭学習の在り方の見直しを図る。



## 02 健康な心と体づくりのために



ISS (インターナショナル・セーフ・スクール) 実践校として、児童主体の持続的活動・体力向上キャンペーン等による運動機会づくりと食育に関する取組の充実を図る。「あいさつ」「そうじ」「くつつろえ」の徹底(家庭・地域・学校で)に取り組むことで、健康な心を育成する。

## 03 人権教育の推進を図るために



全教育活動を通して、人権意識の育成・人権を尊重する教育の徹底・児童と教師がお互いに人格を尊重した差別のない学校、学級づくり

(言葉遣い)に取り組む。心を潤す4つの言葉(おはようございます・はい・ありがとうございます・ごめんなさい)の推進・ハッピーワード活動の推進・保護者への啓発(人権標語等)を図る。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立  
**河合小学校**



- 《学校教育目標》
- ◎よく考え 進んで学習する子（知育）
  - ◎すなおで 思いやりのある子（徳育）
  - ◎心も体もたくましい子（体育）
  - ◎仲間と協力し合う子（コミュニケーション）

開校 116 周年を迎え、豊かな環境を生かし地域と共に歩む学校

■ 所在地：さいたま市岩槻区大字平林寺 3 5 1 ■ 電話：048-756-2243  
 ■ FAX：048-758-7492 ■ 交通：東武アパパークライン岩槻駅、JR 宇都宮線蓮田駅より徒歩約 30 分

## 01 学ぶ楽しさを実感できる授業づくり



学校課題研究等でタブレット型コンピュータ等の ICT 機器を活用した「アクティブ・ラーニング」型授業の実践を推進し、さいたま市『学びのポイント』を意識しながら児童の主体的・対話的で深い学びを取り入れた学習を目指しています。

## 02 一人ひとりのよさを生かし、豊かな心をはぐくむ



特別活動を生かして学級経営の充実を図り、児童会を中心に「心を潤す 4 つの言葉・心を元気にする 4 つの言葉」の活用を推進しています。委員会活動で図書イベントの実施や緑化環境整備などを行っています。月 1 回実施する朝のわんぱくタイム（業前運動）や、毎週 1 回行っているフリースクールタイム（ロング昼休み）の時間を設定し、主体的に運動に取り組む活動を推進しています。

## 03 地域と連携し、郷土を愛する心情を育成



地域ボランティアの方々に御指導いただきながら、稲作や自然観察など自然が豊かな地域の特性を生かした体験学習を計画的に行い、児童の地域に対する誇りと愛情を育てています。低学年は、

春秋に学区内の平林寺グランドに行き、どんぐり拾いやカエル、トンボなどの虫取りを楽しみます。中学年は、学区内にある赤坂沼を中心に年間を通じて自然観察を行います。自然観察員の御指導の下、プールのヤゴを沼に開放（ヤゴ救出大作戦）、絶滅危惧種タコノアシの観察等を行い、調べたことを発表しています。高学年は、地域の方が所有する田んぼで田植えから稲刈りまでを体験し、そのことから興味関心を広げ、調べたことを発表する活動を行っています。また、収穫したお米をお世話になった方々と食べる体験を含めた感謝の会を開いています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

## > **さいたま市立 東岩槻小学校** > > > > > > >

**学校教育目標**  
 「ともに伸びる子」 かしこく・ゆたかに・たくましく  
 一心豊かに生き生きと学び、ともに伸びようとする「すわっ子」の育成—



- かしこく ・自分の考えを伝えられる子 ・自分で考え、行動する子
- ゆたかに ・自分もみんなも大切にできる子 ・互いに高めあい、協働する子
- たくましく ・粘り強く挑戦する子 ・心も体も鍛える子

■所在地：さいたま市岩槻区諏訪2丁目6番地1 ■電話：048-794-1584  
 ■FAX：048-795-0369 ■交通：東武アーバンパークライン東岩槻駅徒歩15分

### 01 児童の食に関する意欲を高めるために



食に関する意欲を高めるために、本校の学校給食部が考案した「ラッキーにんじん」や4年生～6年生を対象とした「ペロりん賞」といった取組を行っています。

「ラッキーにんじん」の取組とは、週1回、星型の形のにんじんを1つ、スープ等のメニューへ入れ、そのにんじんを見つけた児童には写真を撮ったり、校内放送で名前を紹介したりしているといった内容です。

「ペロりん賞」とは、その日の給食を完食できたら、教室内に掲示してある献立表へ花丸を付けたり、シールを貼ったりすることです。

このような取組で児童の食に関する意欲を高めるとともに、毎回の給食の残菜率を減らすことにつながっています。



### 02 埼玉県内の食品を使い、無駄のない消費をするために



できる限り埼玉県産の食品を扱い、地産地消無駄のない消費に取り組んでいます。毎月発行している「給食の献立表」に埼玉県産の

食品が使われていることが分かるようにしています。また、献立内容も工夫しています。和食、洋食、中華が重ならないように、味付けも重ならないように気を付けています。

このように、埼玉県産の食品をできるだけ使い、子どもたちが「給食、おいしい!」と感じられるように取り組んでいます。

8 木	おやこどん (むぎごはん)	ぞくぞくつけ みそしる	たまご とうふ ぎゅうにゅう	とりにく わかめ
9 金	【めのあい】 ブルーベリー トースト	【こんで】 クリームスープ カリカリベーコンサラダ	ベーコン なまクリーム	とりにく ぎゅうにゅう
12 月	【岩槻産米】 いわつき ごはん	さんまのかんろに くるみあえ じゃがもちスープ	さんま あぶらあげ	とりにく ぎゅうにゅう

【岩槻産米】  
いわつきごはん

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



本校では、日々の教育活動を通して、学習面、生活面における児童一人ひとりのめあてを大切に、「生きる力」を身に付けるための取組を進めています。

学校教育目標達成のため、「じょうほく」の教育を推進し、知・徳・体・コミュニケーションのバランスの取れた児童を育成します。



**じょう**ぶな心と体をつくる **ほ**う富な才能を伸ばす **く**り返し学習による学力の定着

■所在地：さいたま市岩槻区大字岩槻 6619 ■電話：048-757-5391  
 ■FAX：048-758-7491 ■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅下車 徒歩 25 分

## 01 あつまれじょうほくの森づくり



平成22・27年度に、全学年の児童・保護者により、潤いのある環境づくり、防災を目的として、シラカシ、スタジイ、タブノキなどの常緑広葉樹を中心に、クチナシやヤツデなど29種類、3653本の苗木を植樹しました。当時小さかった苗木も十分な高さに育ってきました。これから様々な学習の場面で「じょうほくの森」を活用していきます。



校庭南側のじょうほくの森

## 02 諸外国の子どもたちに靴や文房具等を送る活動



NPO 法人 SB,Heart Station の外国の子どもたちに、靴や文房具を送る取組に協力しています。提供品募集の中心は4年生。全校に呼びかけたり、ポスターを制作し掲示したり、仕分け作業を行ったり、毎年熱心に取り組む姿が見られます。グローバル社会の一員として、国際協力活動を体験したり相手国のことを調べたりすることを通して、共に支え合う世界の実現に向けて自分のできることを考える姿勢をもてることを目指しています。



集まった文房具等を渡す様子

## 03 ココロもホクホク城北小



正門前を「あいさつ通り」と名付け、あいさつ運動を推進しています。児童会運営委員が立ってあいさつをしたり、例年中学生と一緒にあいさつを行う期間を設けたりしています。また、いじめ撲滅を目指して、ハートフル集会を計画し全学級でスローガンを発表したり、いじめ撲滅の木を育てたりしています。全校児童が安心して学校生活を送れる温かな学校づくりを進めています。



中学生と合同のあいさつ運動

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

## > さいたま市立 徳力小学校 >>>>>>>>>

### <学校教育目標>

- やさしさ いっぱい やさしく思いやりのある子
- 学 び いっぱい よく考えて進んで学ぶ子
- 元 気 いっぱい ねばり強く元気な子
- あいさつ いっぱい 明るいあいさつができる子



■所在地：さいたま市岩槻区徳力136-4番地 ■電話：048-794-2318  
 ■FAX：048-795-0376 ■交通：東武アーバンパークライン豊春駅徒歩15分

## 01 児童の安心・安全な学校生活のために



本校では、「笑顔であいさつ」を通して、互いに気持ちよくよりよい学校生活を送ることができるようにあいさつ活動の充実に関心をもち、力をい



入ります。「あいさつ大使」や「あいさつ週間」の本校児童だけの取組は

もちろん、小中一貫教育の取組の1つとして中学生と合同であいさつ運動を実施します。

また、コミュニティスクールの取組として岩槻北稜高校の生徒やPTAも交えてあいさつ運動を行います。さらに、児童会が作成する「いじめ撲滅スローガン」のもと、「いじめ0」に向けて行動し、児童全員が安心して充実した学校生活を送れるよう取り組んでいます。

## 02 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境や人権感覚を養う学校環境の整備



(1) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境の整備

教室前面のレイアウトを全校統一とし、児童が授業に集中できる教室環境整備や見通しがもてる授業展開を行っています。



(2) 人権感覚を養う学校環境の整備

・学校図書館には、人権コーナーを設けて人権感覚を養うための本を紹介しています。また、「人権週間」を設定し、期間中図書館司書による人権課題を踏まえた読み聞かせを実施しています。この他にも、人権標語の作成や作文に取り組み、代表児童の作品を校内に展示したり、人権課題に関するDVDの視聴を行ったりして、人権の大切さについて考えることのできる児童の育成を目指しています。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

## さいたま市立 上里小学校



- 1 一人ひとりの児童が生き生きと活動する学校
- 2 豊かな心と確かな学力を身に付けさせることができる学校
- 3 安心・安全で花と緑と潤いのある学校

■所在地：さいたま市岩槻区上里 2-2 ■電話：048-794-2316  
FAX：048-795-0378 ■交通：東武アーバンパークライン東岩槻駅徒歩 10 分



### 01 児童が生き生きと活動するために



本校では、「夢に向かって 元気なあいさつ 上里小」を重点指導に掲げ、朝のあいさつ運動を実施しています。元気なあいさつから学校生活を始めることで、児童が生き生きと学習活動に取り組んでいます。また、児童会が作成する「いじめ撲滅スローガン」のもと、「いじめをなくそう標語」や、言われてうれしい言葉を広める「ほかほかホタル」、気持ちのよいあいさつを心がけることをねらいとした「あいさつポスター」の作成に PTA、学校運営協議会と共に取り組んでいます。また、児童全員が安心して充実した学校生活を送れるようにしたいと考えています。

### 02 豊かな心と真の学力を身に付けさせるために



本校では、国語科の読解力の向上に関する研究を通して、様々な資料から自分に必要な内容を選び、自ら進んで学習を行うための素地を養わせることに力を入れています。自分の言葉で、相手に伝えられるように意見を言うことができ、公平な態度で意見交換ができるよう支援をしています。また、毎月第二水曜日に健康な生活を送るための知識や技能を学ぶ「きらきらタイム」を実施しています。毎月の健康目標を設定することで、一年を通して生活習慣の改善について考えさせたり、熱中症やインフルエンザなど季節によって気を付けてほしい内容を示したりして児童が健康に過ごせるように支援しています。

### 03 安心・安全で潤いのある生活を築くために

本校の環境教育部の教員や環境委員会の児童が中心となって取り組んでいるホタルの育成や学校・地域連携コーディネーターが中心となり登下校のボランティア活動など、児童が安心・安全に学校生活を送るための活動を通して、自分たちが住んでいる場所に愛着がもてる取組を行っています。PTA と地域の方々と協力してリサイクル回収活動を行い、学校と地域が連携して環境改善に取り組めるように実施しています。また、児童会も NPO と協力して、海外の恵まれない子どもたちに少しでも手をさしのべることを主旨に「靴プロジェクト」に参加し、毎年多くの提供品を送っています。さらに、図書ボランティアを保護者の方に呼びかけて、図書の時間に様々な本を読み聞かせしていただいています。今後も地域との結びつきを強めながら、学校・家庭・地域で子どもたちを見守り、育てていけるよう協力を要請し、学校が地域コミュニティの中心としての活動を推進していこうと考えています。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



## さいたま市立西原小学校



### <学校教育目標>

- かしこく (Growth、知性、確かな学力)
- やさしく (Global、感情、豊かな心)
- たくましく (Grit、意志、健やかな体)

### 【目指す子ども像】

#### 「学び続ける児童」

- 遊んでいる時のように知的好奇心をもって没頭して学ぶ姿
- 学びを生活に生かし、学ぶ意義や手応えを実感する姿
- 互いの学びを尊重し、切磋琢磨する姿



■所在地：さいたま市岩槻区西原6番25号

■電話：048-757-2271

■FAX:048-758-7489

■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅徒歩15分

## 01 学び続ける児童の育成を目指して



本校では、『学び続ける児童の育成』のために、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を進め、「学びの自律化」の実現を目指し

ます。また、まずは教師が手本となるべく、個別最適で協働的な形での校内研修を進め、「学び続ける教師」を体現しています。個々で学び、学んだことや実践を話し合うことで、資質や専門性の向上を図ることができています。



## 02 地域の伝統を未来へつなげるために



岩槻区は、歴史的に人形づくりが盛んな地域です。本校では、開校当初から子どもたちが人形づくりに取り組んでいます。学年ごとに様々な種類の人形づくりに取り組みます。



また、作成した人形を全児童が互いに鑑賞する「人形見学」を開催しています。この体験を通して、地域とのつながりを実感できるようにしています。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

## > **さいたま市立** **城南小学校** > > > > > > >

### 学校スローガン

「笑顔いっぱい 『あい』 あふれる城南小学校」

目指す児童像

- かしこく・・・何事にも意欲をもち、進んで学習に参加する子  
学習ルールを守り、落ち着いた生活のできる子
- あかるく・・・さわやかな笑顔で挨拶のできる子  
節度をもち、明朗活発な子
- たくましく・・・自分の健康や体力に関心をもち、記録に挑戦する子  
基本的な生活習慣と粘り強さをもつ子
- まかよく・・・思いやりがあり、素直な子  
誰とでも仲良くできる子



■所在地：さいたま市岩槻区大字南下新井 1 1 9 1 番地 1

■電話：048-798-4811 ■FAX：048-798-8736

■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅から国際興業バスで城南小学校バス停下車徒歩 5 分

## 01 「生きる力」をはぐくむ学習指導



本校では、子どもたち一人ひとりが目を輝かせながら、進んで学習に参加しています。ねらいを明確にしたり、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業展開を工夫したりすることで、子どもたちは「わかった。できた。」「もっとやりたい。」と、生き生き

と学び合っています。特に、算数科では、協働や練り上げの時間の確実な設定を行い、学びの自律化と個別最適化そして探求化を目指していくことで、児童が主体的に取り組めるように、学習意欲を高め「生きる力」の育成を図っています。



## 02 「生きる力」の育成を目指す体験活動



本校では、各学年での様々な体験活動を実施しています。1・2年生では、生活科で町の様子を学習します。町たんけんでは、地域の人たちと触れ合いながら町のよいところを発見します。3年生では、社会科を通して、地域の様子をさらに詳しく学習します。スーパーマーケットや農家の見学を行います。4年生では、助産師さんをお招きして、命に関わる授業を行っています。5年生では、校外学習で藍染の体験活動を行っています。6年生では、学区内にある「真福寺貝塚」へ発掘体験に行きます。縄文時代の人々の生活を肌で感じる活動です。これらの活動を系統的に実施し、体験を通して「生きる力」の育成を目指しています。

これらの活動を系統的に実施し、体験を通して「生きる力」の育成を目指しています。

